

令和7年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 大谷田小学校 校長 菅原 秀道

1 学校教育目標

- ① よく考える子：自ら考え、自ら学び、チャレンジする子
- ② 心豊かな子：相手・他者の人権を尊重して、関わり合う子
- ③ たくましい子：すすんで体を動かし、心身ともに健康でたくましい子

2 現状の学校図書館の課題

- ① 本が好きな児童は多いが、学校図書館の書籍には関心が薄く、貸し出し数が少ない。
- ② 古い書籍が多く、児童が読みたい本や活用したい資料を自分で探することが難しい。
- ③ 図書館の活用方法が定着しておらず、正しい場所へ書籍を戻せない児童がいる。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ① 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ② 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

4 今年度の重点取組

- ① 国語科を中心に書籍を用いた調べ学習や読書活動へ取り組むとともに、教科学習と関連した書籍を定期的に学年へ貸し出すことで、様々な分野の本へ親しむ機会を設ける。
- ② 児童が読みたい本を探しやすくなるよう、図書館資料の整備に努める。
- ③ 貸出冊数や利用可能時間を増やすことで、より利用しやすい図書館づくりをする。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	①せつめいする ぶんしょうをかこう／本は ともだち ②ミリーのすてきなぼうし／ロボット ③本で知ったことをクイズにしよう／三年とうげ ④未来につなぐ工芸品／もしものときにそ なえよう ⑤新聞を読んでみよう／やなせたかしーアンパンマンの勇氣 ⑥本は友達／『鳥獣戯画』を読む／おすすめパンフレットを作ろう
生活科	①きせつと なかよし／なかよく なろうね 小さな ともだち ②野さいを そだてよう／めざせ 生きものはかせ／作って ためして
社会	③工場・畑・お店ではたらく人々のしごと ④さまざまな土地のくらし ⑤情報社会に生きるわたしたち ⑥日本のあゆみ／日本とつながりの深い国々
理科	③チョウを育てよう ④月と星 ⑤科学者の伝記を読もう ⑥動物の体のはたらき
図工	①おはなしだいすき ③ことばから思いうかべて
保健体育	③体のせいけつとけんこう ⑥病気の予防
家庭科	⑤物を生かして住みやすく ⑥夏をすずしく、さわやかに

実践の評価

6 図書館運営計画	
(1) 日常的な取り組み	
①各学級が学校図書館を週に1時間以上活用する。②放課後の図書館開放（週に4日） ③読書ボランティアによる読み聞かせ（3週に1回）	
(2) 主な行事の取り組み	
①大谷田まつり（パネルシアター）②読書月間	
(3) 図書委員会などの取り組み	
①学級文庫の選書と点検 ②おすすめ図書の紹介 ③委員会発表 ④読書数に応じた記念品を作成（葉など） ⑤休み時間に図書の貸出、返却を行う。	
(4) 環境整備の取り組み	
①請求記号を3桁に統一し、分類の理解を深める。 ②蔵書点検により学校図書館の書籍数を正しく把握し、各分類の割合が適切になるよう見通しをもって書籍の購入と除籍を行う。 ③汚損書籍や情報が古い書籍、活用されていない児童書等を除籍し、新しい書籍と入れ替える。	
(5) 司書・外部との連携	
①展示や掲示を工夫し、図書館の美化を心がける。 ②担当教諭と学校図書館支援員との共通理解を図る機会を確保し、資料の準備や計画的な図書館運営をより充実させる。	
実践の評価	

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	図書館のしくみを理解し、様々な分野の本や資料を読むことができる。	年間貸し出し書籍数： 一人当たり35冊	
②	自ら問いをもち、ICTと本、新聞など、複数の情報を活用して学習できる。	ICTと図書を併用した調べ学習の実施数：年2回	
③	読書への意欲をもち、積極的に図書館を利用することができる。	放課後の学校図書館利用者数：年間2000人	

8 学校図書館全体に関する自己評価